

館林地区の金属工業を 紹介するチラシを作成

館林機械金属工業協・館林金属工業団地協

両組合では地元工業を盛り上げようと、館林地域において1,000年前から受け継がれている金属工業の歴史を紹介するチラシを作成した。

チラシでは平安時代中期に存在したとされる「たたら製鉄」について掲載するとともに、館林市内にある多々良沼の名前の由来となっていると紹介。イメージしてもらいやすくなるよう、映画「もののけ姫」に登場する活気ある「たたら場」の場面や、当時の「たたら場」を再現した模型の写真載せる工夫をしている。また、チラシには「カナクソ」と呼ばれる製鉄の際に出る鉄くずの写真も掲載している。

チラシは約5,000枚作成し、館林市内の事業所や公共施設に配布している。



作成された実際のチラシ

令和4年度第1回代表者会議等を開催

関東甲信越静ブロック中小企業青年中央会

7月8日、山梨県・ハイランドリゾートホテルにおいて、第1回代表者会議を開催した。

開会にあたり、関ブロ会長を務める群馬県中小企業団体青年協議会・川手和義会長が挨拶を行った。本会議は総会を兼ねており、令和4年度事業計画及び収支予算、役員改選等を含む全5議案が原案通り可決承認・決定された。

次いで、関ブロ新会長に就任した山梨県中小企業団体青年中央会・川崎太会長が座長となり、青



年中央会事業等について情報交換会を開催。各県での課題や具体的な取組みについて、活発に情報交換を行った。新型コロナの影響により対面でのイベント開催が難しく、多くの県でオンラインによる青年部活動を行っている様子が窺えた。



活発に意見を交わす参加者

出席者の主な発言内容

- 動画を活用した採用活動を研究している。
- 他地域の災害に迅速に支援できるよう、災害援助資金を積み立てている。
- AI、IT、DXで人手不足に対処すべく、人材定着、補助金などについて学んでいる。
- DXについて、青年部が率先して取組事例等を研究し、自分事として捉えられていない事業者に必要な性をPRしていく。
- 中小企業診断士を講師に迎え、補助金の申請や使用方法について学んでいる。
- レディース会との連携を深めていきたい。
- 他ブロックも交えた交流会の開催を予定。
- 4県交流会(群馬・栃木・茨城・千葉)を再開する予定。

Local Area News

J R伊勢崎駅前南口にミスト装置を 寄付・設置

伊勢崎管工設備(協)

伊勢崎市は、6月に観測史上最高気温となる40℃を2度も記録した。同組合は暑さ対策に役立ててもらおうと、水を霧状に散布するミスト装置を市に寄付した。7月7日に設置作業を終え、8日から稼働を開始した。



協力してミストを設置する組会員

ミスト装置は伊勢崎駅前南口からバス乗り場まで続く、約100メートルの通路の屋根に1メートル間隔で設置し、1時間あたり313リットルの水が噴霧される。最高予想気温が28度を超える日の9時～17時の間に稼働する。設置期間は9月30日まで。

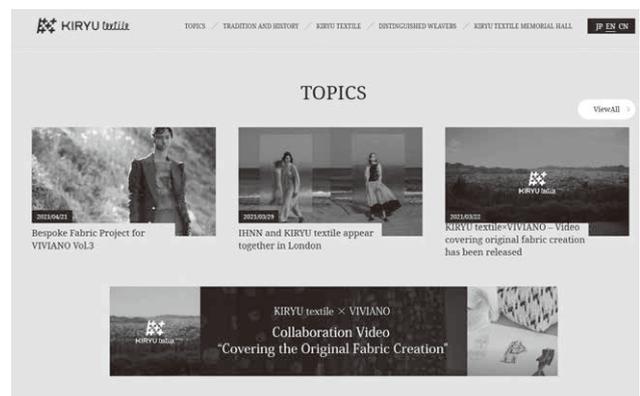
先進組合事例集の掲載に向けて ヒアリングを実施

桐生織物(協)

7月26日、桐生市・組合事務所において、全国中小企業団体中央会が実施する「組合資料収集加工事業」のヒアリングが行われた。本事業は、

組合が新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、全国中央会が先進事例を集め、報告書にまとめているもの。

同組合では、2018年からジェトロ(日本貿易振興機構)の「地域団体商標海外展開支援事業(特許庁補助事業)」に取り組み、桐生織が日本で認められた地域ブランドであることを海外へ積極的にアピール。「カットジャガード」という特殊加工された素材のブランディング強化と販路開拓を目指し、中国の「上海ファッションウィーク」への出展や、海外向けのオリジナルロゴの製作、多言語ウェブサイトを開発している。



多言語対応のWebサイトのトップページ
サイトの左上にはオリジナルロゴを掲載



WebサイトQRコード

今回の調査では、専門家として中小企業診断士の小林広之氏が、組合独自で取り組んでいる事業について、専務理事の石原光茂氏、部長の佐竹正規氏より聞き取りを行った。



先進的な取組みをヒアリング